

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「オレンジ・ウォーク町ごみ収集車整備計画」  
贈与契約署名式**

2019年2月7日、オレンジ・ウォーク町中央公園において、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「オレンジ・ウォーク町ごみ収集車整備計画」の贈与契約署名式が開催されました。

在ベリーズ日本大使館の窪田臨時代理大使は、ごみ問題は同町だけではなく、日本を含む世界全体に共通する課題であると強調し、本計画によってより適切なごみ収集を実現するためにオレンジ・ウォーク町にごみ収集車を供与でき、日本政府としてベリーズの環境問題に協力できることを嬉しく思うと述べました。

オレンジ・ウォーク町は、既存の2台のオープン・バック型トラックが老朽化のため頻繁に故障し、適切なごみ収集が適切に実施できておらず放置ごみ問題等の問題が深刻化しています。

本計画によって、84,250米ドルが供与され、1台の圧縮機付ごみ収集車が同町に導入されます。これによって、同町のごみ収集能力が改善され、約13,000人の同町の住民に、より清潔な環境を提供できることが期待されています。

本署名式には、ジョニー・ブリセーニョ野党党首（←窪田さん、政党名を入れてください）、ケヴィン・ベルナード・オレンジ・ウォーク町長、リゴ・ヴェロス・コロザル町長、イアン・カール・オレンジ・ウォーク町副町長や同町議員他、同町関係者、報道関係者、JICA関係者など約50名が出席しました。

被供与団体は、ケヴィン・ベルナード町長は、ごみ収集業務をより効果的にするための圧縮機付ごみ収集車の導入の実現に、大きく近づいたことへの喜びを述べつつ、本件における資金供与や、JICAボランティアによるリサイクルや美化促進活動を始めとした、長年に亘る日本からの支援に深い感謝の意を述べました。



同町への支援の意義を述べる窪田臨時代理大使



日本に対する謝意を表すケヴィン・ベルナード町長



贈与契約書に署名をする窪田臨時代理大使とベルナード町長



左から：ホスエ・カルバーリヨ町議会議員，ベルナード町長，窪田臨時代理大使，イアン・カール副町長



窪田臨時代理大使，ベルナード町長，橋口 JICA ベリーズ支所長（左から 2 番目），木村隊員（左端）と，オレンジ・ウォーク町職員たち。



日本への感謝の踊りを披露する同町の子供たち。